

全国学力学習状況調査富岡東中学校分析

国語A：主として知識

富岡東	神奈川	全国
72%	76%	76.1%

神奈川県・全国の平均正答率を下回っている。

特に「書く分野」においては、5ポイント近く下回った。基本的な言語や文章から内容を理解して要点をまとめる活動を増やし、力をつけていく必要がある。

国語B：主として活用

富岡東	神奈川	全国
61%	62%	61.2%

神奈川県・全国の平均正答率に近い結果となった。言語に関する知識理解、伝統的な言語分野に関する事項に関しては、全国・神奈川県ともに上回った。普段の授業の成果が表れていると考えられる。

数学A：主として知識

富岡東	神奈川	全国
62%	66%	66.1%

神奈川県・全国の平均正答率を下回っている。基本的な計算に関しては、全国・神奈川県の平均正答率を上回っているが、本来の用語の意味を問われたり、文章を立式したりする力が弱い。計算という作業にならずに、その過程や本質を大切にする授業展開をする必要がある。

数学B：主として活用

富岡東	神奈川	全国
43%	48%	46.9%

神奈川県・全国の平均正答率を下回っている。特に事象を数学的に解釈をしたり、問題の解決方法を数学的に説明する力が弱い。これは、知識の分野でも明らかになっているが、その事象がどの知識を使うのかを判断できる力を養っていく必要がある。

理科：主として知識

富岡東	神奈川	全国
64%	66%	66.1%

神奈川県・全国の平均正答率を下回っている。特に1分野の内容に課題がある。問題文から道筋を立てて、説明したり活用したりする力が弱い。

今回の調査を受けて、本校の課題は「文章から内容を理解し、どの既習内容を用いればよいかを判断する力」を身につけさせることである。また、国語の文章読解力は、数学・理科に通じ、数学の計算力は、理科の物理分野の計算に通じることから、教科を超えて横断的に課題を共有し、改善していく努力を進めていく必要がある。